



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 東  
 コード番号 4317 URL http://www.ray.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 分部 至郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名) 牧田 渉 (TEL) 03(5410)3861  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日~平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	5,556	8.3	187	—	185	—	136	—
29年2月期第2四半期	5,132	△9.1	△106	—	△88	—	△94	—

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 136百万円(—%) 29年2月期第2四半期 △61百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	10.57	—
29年2月期第2四半期	△7.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	8,404	3,787	45.0
29年2月期	8,479	3,728	43.9

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 3,785百万円 29年2月期 3,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日~平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	6.1	440	21.1	400	13.1	280	28.6	21.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年2月期2Q	14,328,976株	29年2月期	14,328,976株
30年2月期2Q	1,434,962株	29年2月期	1,434,962株
30年2月期2Q	12,894,014株	29年2月期2Q	12,894,014株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な経済対策や金融対策の効果により、企業収益や雇用・所得環境の改善が堅調に推移し、緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響による懸念など不安材料も多く、景気の先行き不透明感が拭い切れない状況が継続しております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても概ね順調に推移していますが、上記のような経済動向の影響により、先行き不透明な状況となっております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,556百万円（前年同期比8.3%増）となり、前年同期の連結会計期間においては、大型プロジェクトの頓挫による赤字取引が発生したことから赤字を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間においてはそのような事象はなく、当第2四半期連結累計期間の営業利益は187百万円（前年同期は営業損失106百万円）、経常利益は185百万円（前年同期は経常損失88百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は136百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失94百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (広告ソリューション事業)

S P（セールスプロモーション）・イベント部門につきましては、第2四半期連結累計期間までに実施される案件の受注が芳しくなく、秋のイベント・展示会等が多く開催される時期以降の受注案件が多いため、第2四半期連結累計期間の業績は低調な結果となりました。また、TVCM（テレビコマーシャル）部門につきましては、TVCM制作の受注が第1四半期連結累計期間に引き続き好調に推移し、業績も好調に推移いたしました。

この結果、広告ソリューション事業の売上高は、2,929百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は202百万円（前年同期は営業損失119百万円）となりました。

#### (テクニカルソリューション事業)

映像機器レンタル部門は、例年第2四半期連結累計期間までの業績は、季節要因等により低迷する傾向があり、S P・イベント部門同様、秋のイベント・展示会等が多く開催される時期以降の受注が多いこともあり、第2四半期連結累計期間の業績は低調な結果となりました。ポストプロダクション部門は、編集スタジオの稼働は堅調であり、受注・価格競争の影響による受注単価の改善は難しい状況にありますが、前年同期間の業績状況からの変化はなく、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は、2,626百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は259百万円（同12.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 財政状態の状況

##### (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて3百万円増加し5,039百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加151百万円、受取手形の減少120百万円、電子記録債権の増加598百万円、売掛金の減少716百万円、たな卸資産の増加105百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて78百万円減少し3,364百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少80百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて75百万円減少し8,404百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて9百万円増加し3,716百万円となりました。主な要因は、預り金の増加84百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて143百万円減少し900百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少55百万円、リース債務の減少80百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて134百万円減少し4,616百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて59百万円増加し3,787百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は45.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて151百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,338百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は602百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上176百万円、減価償却費の計上286百万円、売上債権の減少237百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額105百万円、法人税等の支払額67百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は81百万円（同22.2%減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出57百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は369百万円（同13.9%減）となりました。

主な要因は、リース債務の返済による支出227百万円、長期借入金の返済による支出55百万円、配当金の支払額76百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、TVCM（テレビコマーシャル）業界において、従来のテープや光ディスク等によるプリント納品が、平成29年10月以降配信による納品に順次変更されていく予定になっておりますが、その環境等がまだ確定しておらず、当社のTVCM部門、ポストプロダクション部門の業績に与える影響が不透明なこと等により、平成29年4月14日に公表しました業績予想に変更はありません。業績予想の修正の必要が生じた際には速やかに開示いたします。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,186,864	1,338,013
受取手形	261,950	141,339
電子記録債権	11,981	610,556
売掛金	2,933,171	2,216,717
たな卸資産	358,716	463,861
繰延税金資産	132,487	122,675
前払費用	92,356	113,635
その他	67,595	40,888
貸倒引当金	△9,302	△8,210
流動資産合計	5,035,819	5,039,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	897,797	916,923
減価償却累計額	△245,084	△268,014
建物及び構築物 (純額)	652,713	648,908
機械装置及び運搬具	1,070,876	1,121,213
減価償却累計額	△881,076	△911,700
機械装置及び運搬具 (純額)	189,799	209,513
工具、器具及び備品	291,380	304,901
減価償却累計額	△253,305	△260,439
工具、器具及び備品 (純額)	38,075	44,462
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,715,130	1,649,471
減価償却累計額	△894,831	△932,350
リース資産 (純額)	820,298	717,121
有形固定資産合計	2,810,770	2,729,889
無形固定資産		
ソフトウェア	67,569	58,053
のれん	8,756	6,567
その他	7,541	15,319
無形固定資産合計	83,866	79,940
投資その他の資産		
投資有価証券	255,300	252,229
出資金	11,455	350
長期貸付金	5,018	5,018
破産更生債権等	27,486	28,375
長期前払費用	19,738	26,932
敷金及び保証金	211,567	224,434
保険積立金	49,473	49,786
繰延税金資産	55	-
その他	1,120	1,120
貸倒引当金	△32,504	△33,393
投資その他の資産合計	548,710	554,853
固定資産合計	3,443,347	3,364,683
資産合計	8,479,167	8,404,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,052,301	1,088,903
短期借入金	1,450,000	1,440,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	110,000
リース債務	413,229	383,528
未払金	189,012	177,769
未払消費税等	90,568	44,460
未払費用	68,013	66,145
未払法人税等	78,264	51,630
預り金	14,041	98,542
賞与引当金	201,334	185,766
その他	40,325	69,491
流動負債合計	3,707,091	3,716,237
固定負債		
長期借入金	412,500	357,500
リース債務	473,428	393,339
繰延税金負債	41,172	38,274
資産除去債務	116,925	111,580
固定負債合計	1,044,026	900,693
負債合計	4,751,117	4,616,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	481,267	481,267
利益剰余金	2,939,575	2,998,485
自己株式	△246,728	△246,728
株主資本合計	3,645,258	3,704,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,862	73,218
為替換算調整勘定	9,377	8,208
その他の包括利益累計額合計	81,239	81,427
非支配株主持分	1,552	1,633
純資産合計	3,728,050	3,787,229
負債純資産合計	8,479,167	8,404,161

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	5,132,258	5,556,101
売上原価	3,921,004	3,999,952
売上総利益	1,211,253	1,556,149
販売費及び一般管理費	1,317,935	1,368,554
営業利益又は営業損失(△)	△106,681	187,595
営業外収益		
受取利息及び配当金	760	2,535
出資金運用益	4,774	1,830
補助金収入	19,986	-
貸倒引当金戻入額	2,513	203
その他	10,861	2,876
営業外収益合計	38,895	7,445
営業外費用		
支払利息	10,163	6,670
持分法による投資損失	10,711	2,025
その他	223	1,194
営業外費用合計	21,098	9,891
経常利益又は経常損失(△)	△88,885	185,150
特別利益		
固定資産売却益	-	40
特別利益合計	-	40
特別損失		
固定資産除却損	1,088	-
減損損失	-	5,066
投資有価証券評価損	-	3,323
特別損失合計	1,088	8,389
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△89,974	176,801
法人税、住民税及び事業税	1,135	37,554
法人税等還付税額	-	△3,415
法人税等調整額	2,945	6,307
法人税等合計	4,080	40,446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,054	136,354
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	79
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94,010	136,274



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,054	136,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,376	1,356
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,366	△1,168
その他の包括利益合計	33,009	188
四半期包括利益	△61,044	136,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,001	136,462
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	80

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△89,974	176,801
減価償却費	332,294	286,096
減損損失	-	5,066
のれん償却額	2,189	2,189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,301	△203
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,962	△15,567
受取利息及び受取配当金	△760	△2,535
支払利息	10,163	6,670
出資金運用損益(△は益)	△4,774	△1,830
持分法による投資損益(△は益)	10,711	2,025
固定資産売却損益(△は益)	-	△40
固定資産除却損	1,088	-
補助金収入	△19,986	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	3,323
売上債権の増減額(△は増加)	660,760	237,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	148,630	△105,145
長期前払費用の増減額(△は増加)	△2,328	△2,328
仕入債務の増減額(△は減少)	△126,716	36,601
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△806	5,182
その他の流動負債の増減額(△は減少)	51,324	37,547
その他	△18,268	△1,673
小計	871,284	669,781
利息及び配当金の受取額	760	2,535
利息の支払額	△10,152	△6,602
補助金の受取額	19,986	-
法人税等の支払額	△83,966	△67,029
法人税等の還付額	261	3,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,174	602,140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△54,094	△57,436
有形固定資産の売却による収入	750	212
資産除去債務の履行による支出	-	△3,620
ソフトウェアの取得による支出	△35,144	△7,995
出資金の払込による支出	△27,918	△10,438
出資金の回収による収入	30,010	17,226
敷金及び保証金の差入による支出	△16,418	△15,756
敷金及び保証金の回収による収入	692	2,888
その他	△2,829	△6,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,951	△81,680

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,100,000	5,870,000
短期借入金の返済による支出	△6,100,000	△5,880,000
リース債務の返済による支出	△272,280	△227,365
長期借入金の返済による支出	△80,400	△55,000
配当金の支払額	△76,305	△76,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,986	△369,309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264,236	151,149
現金及び現金同等物の期首残高	921,070	1,186,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,185,306	1,338,013

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,461,386	2,670,872	5,132,258	—	5,132,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,750	120,896	122,646	△122,646	—
計	2,463,136	2,791,769	5,254,905	△122,646	5,132,258
セグメント利益又は損失(△)	△119,096	298,224	179,127	△285,809	△106,681

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△285,809千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,929,592	2,626,509	5,556,101	—	5,556,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,535	114,531	138,066	△138,066	—
計	2,953,127	2,741,040	5,694,167	△138,066	5,556,101
セグメント利益	202,755	259,883	462,638	△275,043	187,595

(注) 1 セグメント利益の調整額△275,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テクニカルソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては5,066千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。